



前進座創立九十五周年記念公演

創作歌舞伎

戸隠紅葉噺

とがくしもみじのものがたり

脚本 竹柴潤一
構成・演出 小野文隆
振付 坂東鼓登治
装置 占部美帆（金井大道具）
照明 田中祐太
作曲 杵屋邦寿
作調 田中佐幸

■あらすじ

時は戦国、ところは信州戸隠神社。

武田信玄は村上義清との戦いで勝利します。

その祝の席にやってきたのは美しい紅葉姫とい

う踊り子。信玄らが紅葉の舞に酔いしれる中、

紅葉姫は突如信玄に襲いかかります。紅葉姫は

義清の娘であり、父の仇の信玄に復讐を企てた

のでした。

紅葉姫はこの世を魔界へ変貌させようとして

妖術を繰り出します。信玄の息子・勝頼が必死

に応戦し、戦いの場は戸隠山へ。

勝頼の加勢に現れたのは信玄の家来・高坂弾

正。弾正は妖魔の本性をあらわした紅葉姫の妖

術を封じ込めるべく、戸隠の護符を紅葉姫に差

し向け……



併演：歌舞伎の楽しさ

■子どもたちに歌舞伎を

「歌舞伎」は四百年以上続く日本を代表する芸能のひとつです。その独特の様式は世界から評価されており、2009年にはユネスコの無形文化遺産に登録されました。そんな日本人なら誰でも知るべき歌舞伎の入り口として、前進座は創作歌舞伎を創り続けています。

理屈ではなく五感で受け取る子どもたちに相応しい新たな歌舞伎にご期待下さい。



前進座

●一九三一（昭和六）年、革新の意気に燃える若い歌舞伎俳優たちが創立。戦後は廃墟の中、青少年劇場運動を起こして全国を廻り、感動と励ましを届けた。二〇二六年には創立九十五周年。